

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第141日

英語版はソフィア・オリニツクさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。

日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

食料安全保障 国連とトルコは、ロシアによってブロックされた黒海の穀物輸出ルートを再開し、何百万人もの人々が直面する飢餓のリスクを緩和することを目的としたイスタンブールでの会談の[進展を歓迎した](#)。トルコのフルシ・アカル国防相によれば、水曜日に合意は署名される予定であると述べた。ウクライナの穀物の輸出に関する会議で、両当事者はイスタンブールに調整センターを設立し、来週トルコでウクライナとロシアの代表団の第2回会議を開催することに合意しました。

農業 ロシアは2月以来ウクライナから6億1300万ドル相当の農産物を盗みました。キエフ経済学部の研究者であるローマン・ネイターによれば、ロシアがウクライナから盗んだ穀物と農業用油の推定値になっています。専門家によれば、戦争による農業部門の総損失は276億ドルに達する可能性があります。ウクライナの港の封鎖によってもたらされた損失が含まれています。

攻撃を受けている都市 7月13日の午後、ザポリージャ市にある企業は2発のロケットの砲撃を受けました。早朝、ムイコラーイウで[爆発の音](#)が記録されました。スーミ州の[国境コミュニティ](#)は砲撃を受け続けます。ドネツク州のスラビャンスクで砲撃の結果、2人が負傷しました。市長は人々に避難するように促しました。ロシア軍は、ウラガンの多連装ロケット砲を使用して、ドネツク州のバクムットの住宅に発砲しました。少なくとも8軒の家屋が被害を受けました。攻撃の結果、1人の民間人が死亡し、さらに5人が負傷しました。

「志願兵の動員」 米国のシンクタンク戦争研究所は7月13日の報告書で、戦争努力を継続しようとし続けながら、一般的な動員を避けるために、ロシアは85の連邦地域（占領下のセバストポリとクリミア半島を含む）に高給と利益インセンティブを与えた「ボランティア大隊」を創設するよう求めたと[述べました](#)。各地域は、少なくとも1つの部隊に、6か月の契約にサインアップする50歳までの男性のボランティアを動員する必要があります。専門家は、6月下旬と7月上旬にモスクワ市を含む10の地域でボランティア大隊の作成または展開を確認したロシアのメディアを引用しました。

人権 欧州連合は43か国とともに、ジェノサイド条約の下でロシア連邦を訴えるというウクライナの意図を支持しました。「私たちは、ジェノサイド犯罪の防止と処罰に関する1948年の条約の下で、国際司法裁判所でロシア連邦に対する訴訟を提起するウクライナの申請に対する支持を改めて表明します。ロシアには、ウクライナで軍事行動を取る合法的な根拠がありません。」と[声明](#)に述べています。

アントニー・ブリンケン米務長官は、ウクライナでの体系的な「ろ過」を直ちに停止するようロシアに[呼びかけました](#)。報告によると、26万人の子供を含む、約160万人の無実のウクライナ人が失踪、拘留、または強制的に家から追放されました。

ロイター[通信](#)によると、ウクライナからの難民の約60%は、敵対行為が鎮静化し、ロシアの侵略後に治安状況が改善するまで、受入国に留まると予想しています。現在チェコ共和国、ハンガリー、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、スロバキアに住んでいるウクライナからの約4,900人の調査によると、ウクライナからの難民（主に女性と子供）のほとんどは最終的に帰国することを望んでいます。調査は5月中旬から6月中旬に実施されました。UNHCRの報告によると、ヨーロッパ全土で560万人以上の難民が記録されており、2月24日のロシアの侵攻以来、約880万人がウクライナを出国し、約330万人が帰国しています。

戦争犯罪捜査 国連は、戦争の武器としての性的暴力の調査を支援する[専門家のチームを委任します](#)。イリーナ・ベネディクトヴァ検察総長は、ハーグで紛争における性的暴力に関する国連事務総長特別代表プラミラ・パッテンと会談しました。会議中に、戦争の武器としての性的暴力の犯罪の調査においてウクライナに援助を提供することについて話し合いました。プラミ

ラパッテン氏は、近い将来ウクライナで働くために常勤の専門家のグループを集める準備ができていると報告しました。経験豊富な専門家が検察官や捜査官を支援し、市民社会と協力します。イリーナ・ベネディクトヴァ氏はまた、ウクライナのロシア軍がレイプを戦争の武器として使用していると付け加えました。検察官は、ドネツィク州、ザポリッジャ州、キイフ州、ルハンシク州、ハルキウ州、ヘルソン州、チェルニーヒウ州で、このような戦争犯罪を文書化し、他の法執行機関と協力して調査しています。

外交政策。ドネツク地域のクレムリンの代理人のリーダーであるデニス・プシーリンは、北朝鮮はロシアとシリアに続いて、占領下のウクライナ地域を「独立国家」として認めたと述べました。北朝鮮自体はまだ認識の事実を確認していない、とBBCは報告しています。これを受けて、ウクライナはいわゆる「L/DPR」の独立の承認に関連して、朝鮮民主主義人民共和国との外交関係を断ち切ることを発表した、と外務省は報告しました。

欧州委員会は、ロシア連邦からの商品の輸送に関するEU加盟国向けの追加の指示を公開しました。文書によると、カーリーニングラード地域への認可された商品の輸送は鉄道で許可されており、必要な管理の対象となっています。同時に、認可されたロシア製品の道路による輸送は引き続き禁止されています。

ドイツは8月1日から、8月1日にロシアの石炭、12月31日にロシアの石油の購入を停止します。ロシアは以前、ドイツの石炭の40%と石油の40%を供給していたと述べました。

EUの外務長官 **ジョセップ・ボレ**氏は、すべてのウクライナ人がロシアの市民権を取得するための手続きを簡素化するというロシアの独裁者ウラジーミル・プーチンの命令は、「ウクライナの主権のさらに別の重大な違反」であると述べました。簡略化された手順は、以前は、ロシアが2019年以来ほぼ100万のパスポートを配布しているドネツク州とルハンシク州のロシア占領地域でロシアのパスポートを配布するために使用されていました。

和平交渉。**ドミトロ・クレバ**外相は、ウクライナとロシアの間の交渉は現在中断されていると述べました。「ロシアが私たちに対して開始したこの戦争におけるウクライナの目標は、私たちの領土を解放し、ウクライナの東と南で私たちの領土保全と完全な主権を回復することです。これが私たちの交渉ポジションの終点です」と彼は付け加えました。この戦争におけるウクライナの目的は、「私たちの領土を解放し、ウクライナの東と南で私たちの領土保全と完全な主権を回復することです。これが私たちの交渉ポジションの終点です。」

制裁。ロシアの武器メーカーであるカラシニコフは、仲介業者を利用して制裁を回避していると、ウクライナのオンライン新聞、**エウロペイシカ・プラウダ**が報じました。カラシニコフはまた、ロシアの仲介業者を通じて欧州連合のカートリッジ生産施設を買収しようとしていました。

欧州委員会は、ロシアが認可された商品を鉄道でカーリーニングラードに輸送することを許可しています。EUは、ロシアは、エンクレーブ向けの制裁措置を受けた商品を鉄道でブロックの領土に輸送し続ける可能性がある、と述べましたが、EU加盟国は、輸送される商品を検査する必要があります。声明によると、ロシアのオペレーターとの道路による商品の輸送は許可されていません。

エネルギー安全保障。 EUは、この10年間にロシアのガスをクリーンエネルギーに置き換え、地球温暖化のCO2排出量を削減するよう各国に働きかける、より野心的な法律を交渉しています。欧州議会エネルギー委員会は水曜日に、EUの一次および最終エネルギー節約の目標を2030年までに予想レベルと比較して14.5%に引き上げ、すべての国に拘束力のある貢献を設定するという提案を支持しました。モスクワがウクライナに侵攻した後、ロシアの燃料をより早くやめるためにブリュッセルは5月にそれを13%に引き上げたが、議員たちは委員会が昨年夏に最初に提案した9%のエネルギー節約よりもはるかに高い目標を望んでいるとロイターは報告しています。

読書コーナー

- [Russia's War Against Ukraine Has Turned Into Terrorism | The Atlantic](#)
- [Russia's long history of show trials in Ukraine | Politico](#)

総計情報

- 検察官によれば、349人の子供が殺され、652人以上が負傷しました。
- 戦争開始以降、ロシアはウクライナの領土で2960発のロケットを発射しました。
- ロシアのミサイルは、ザポリージャ州で1日で600ヘクタールの穀物を破壊しました。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年7月14日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました：人員約37,870人、戦車1667台、装甲戦闘車両 (APV) 3,822台、砲兵システム840台、多連装ロケットシステム(MLRS) 247台、対空戦システム109台、固定翼航空機 219台、ヘリコプター 188台、軽装甲車2,720台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV681台、特殊装備67台、移動式短距離弾道ミサイルシステム155台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ムイコラーイウに拠点を置く「[Rebel Volunteers](#)」を支援してください。「Rebel Volunteers」は、ムイコラーイウにある救急病院、小児病院、その他の医療施設の外傷部門や救急治療室でボランティア活動しています。ボランティアグループは、ムイコラーイウ動物園を支援し、動物の権利活動家と協力しています。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- PayPal経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！